

**【教員氏名】**

今木 秀和

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

[グローバル企業の経営と異文化マネジメント]

本学は「世界市民」を養成することを教育理念としている。その理念を正しく理解することから本学での学びは始まる。ここでは経営学の観点から「世界市民」にアプローチする。経営学の対象は、企業を中心とする組織であるので、世界で活躍する企業や組織とそこで働く人々に焦点を合わせて講述する。

テキストは使用しない。毎回講義資料は出席者に配布する。出席は、当然のことである。

**【学習目標】**

本学の教育理念を正しく理解することが、本学での学びの出発点であるとの認識に基づいて講義する。「世界市民」を理解するためのアプローチは、様々な観点・立場があり得るが、この講義では経営学の立場で講義する。世界で活躍する企業や組織とそこで働く人々を対象に取り上げる。本学の教育理念である「世界市民」について正しく理解し、本学での学びを有意義にするための基礎を築くことが目標である。

**【講義計画】**

- 第1回：オリエンテーション：本学の歴史と教育理念
- 第2回：経営学の観点から考える「世界市民」
- 第3回：グローバリゼーションとは何か
- 第4回：企業の国際化・グローバル化
- 第5回：グローバルビジネスとは何か
- 第6回：文化の多様性とビジネス
- 第7回：マルチカルチャー・マネジメント
- 第8回：グローバルビジネスのマルチカルチャー的価値観
- 第9回：マルチカルチャー時代の人材開発
- 第10回：グローバルビジネスにおける文化の認識と異種交配
- 第11回：グローバルビジネスの実践的価値観（1）
- 第12回：グローバルビジネスの実践的価値観（2）
- 第13回：異文化コミュニケーション（1）
- 第14回：異文化コミュニケーション（2）
- 第15回：異文化交渉

**【成績評価の方法】**

試験評価：60％ レポート：30％ 出席：10％

学期末試験で「世界市民」についての理解度を判定する。講義の内容を理解するためにレポートの提出を2～3回求める。授業で学んだことや質問、疑問に思ったこと、要望などを毎回配布する「コメントカード」に記入してもらおう。それに基づいて次回の授業で討議する。「コメントカード」は出席カードではない。コメントカードに記入した内容によって最大限「10点」を成績評価に反映させることがある。上記の「出席点」はそのような意味である。

**【参考文献】**

適宜指示する

**【準備学習の指示】**

毎回前回の授業で話した内容の討議を行う。そのため家庭学習として前日に配布した資料に基づいて復習を行い、討議のための準備をすることが家庭における準備学習である。